

植生の移り変わり

大山の植生は頂上に向かって登るにつれて劇的に変わります。風雪が5合目(1200m)あたりから特に強くなるため、ブナ林から低木に変わります。たとえば6合目(1300m)周辺のウリハダカエデは、その変わりやすい天候のために、1~2mほどの高さよりも育つことができません。ミヤマイボタ、ヤマヤナギなどの木も、8合目(1600m)の近くでは低木に変わります。大山は北方系の植物と南方系の植物が混生する場所として、知られています。